

# ハ ル ジ オ ン

Erigeron philadelphicus

種名



分類	被子植物双子葉植物綱キク科	俗称	ハルジオン、ピンボウグサ、テンチョウグサ	生活型	多年草
分布	全国				
形態	大きさ: 30~60 cm 種子・繁殖体の大きさ: 0.2-1.1(mm) ハルジオンの茎は中空なので、ポキリと折れやすい。 花のつぼみは、下を向きうなだれている(ヒメジオンは立っている)。				
類似種	キシノウエ、カキツバタ				
生息場所	畦畔・休耕田・路傍などにはえる。				
繁殖	ハルジオンは違う個体の個体でない種子を作れないので、主に株分けで増えていく。根茎を切断すると多数の個体となる。 【繁殖形態】種子・栄養繁殖。地下茎を伸ばすほか、種子は冠毛があり風散布される。 【越冬形態】ロゼット葉で越冬。				
他生物との関係	【訪花昆虫】ヤマトツヤハナバチ、オオエチビコハナバチ、キハナヒメハナバチ、ツルガハキリハチ、ニッポンキマダラハナバチ、ヤマトツヤハナバチ、キオビツヤハナバチ、ヒメマルカツオブシムシ、コアオハナムグリ、エグリトラカミキリ、モンシロチョウ、ベニジミ、ツバメシジミ、アゲハ、マトガ 【植食昆虫】ヨモキエダシヤク、オオビスシエダシヤク、エゾキクシウワ				
配慮のポイント					
引用文献: 『田んぼの生きもの指標 農と自然の研究所』を改変					